

## 日本発ウィーン便り : Der Wiener Hauptbahnhof

「ウィーンに Hauptbahnhof (ハウプトバーンホーフ : 中央駅) を設置する」という構想は 1870 年代まで遡ります。この計画はその後何度も検討はされたものの、そのたびに資金の問題で棚上げになっていたようです。そしてとうとう計画が実際に動き始めたのは、構想から 130 年の歳月を経た 2006 年。元 Südbahnhof (南駅) と Ostbahnhof (東駅) の 2 つの駅が合わさって新 Hauptbahnhof が造られたわけですが、予備工事の始まったのが 2007 年。その後、長距離列車の発着の変更などを行いながら工事は進み、2012 年の 12 月には一部の線路の運用を開始。2014 年の 10 月には BahnhofCity と呼ばれる駅構内のショッピングセンターが開業、そして 2015 年 12 月にはめでたく全面完成し、ウィーンを発着する全ての長距離列車 (国際列車を含む) が Hauptbahnhof 発着となりました。ちなみに通過式のターミナル駅です。あとは、駅の工事と並行して、周辺一帯の再開発も行われました。貨物駅が廃止されて、駅の配置が全体的にコンパクトになったことで出てきた駅回りの土地には高層ビル群を含め、オフィスや商業施設、ホテル、公園、そして 13,000 人の入居を見込む 5,000 の住居と、街が一つ生まれた感じです。もちろんこの Hauptbahnhof の近くには Schloss Belvedere (ベルヴェデーレ宮殿) がありますので、その一帯の景観を損なわないデザイン・配置になるよう配慮されています。(この点がすごい！)



今回の旅の目的の一つは、新しい Hauptbahnhof を見に行くこと。そして列車の旅でした。

データはさておき、駅を見に行きましょうか? ☺

まずは地図を見て驚いたのが立地。ウィーンには結構効率よく地下鉄の路線が張り巡らされているのですが、一番の中心、ウィーン便りでもおなじみのウィーンのランドマーク Stephansdom (シュテファン大聖堂)。

この最寄の地下鉄駅 Stephansplatz 駅から地下鉄で 5 分の距離に Hauptbahnhof があります。なんて便利!

地下鉄を降りると、もう地下で Hauptbahnhof に直結しています。



↑の写真のような案内表示に従って歩いていくと ÖBB (Österreichische Bundesbahnen : オーストリア連邦鉄道) の Hauptbahnhof に到着。ここで発着状況とか何番線の発着か、とかを確認のうえ、プラットフォームに向かいます



90の商店・飲食店の入る商業施設 BahnhofCity（バーンホーフシティ）を通過して駅に向かいます。



地上の正面入り口はこんな感じです。



利用者にとって便利なのは、HauptbahnhofはÖBBの鉄道以外にも地下にはU-Bahn（地下鉄）とS-Bahn（都市内・都市近郊鉄道）。地上にはBus（バス）とStraßenbahn（路面電車）、そして長距離バスの発着所と、全ての公共交通機関の駅・停留所が同じ場所にあること！なんとも機能的に造ったなあと感心です。

日本発ウィーン便り ~Der Wiener Hauptbahnhof~ von Eriko T. am 15/03/16



全てのホームには大きなエレベーターが完備されているので、大きな荷物があっても楽々です。



プラットフォームはこんな感じです。ウィーンからの国際列車としては、夜行列車 (EuroNight) も含めるとドイツ、スイス、イタリア、ハンガリー、ポーランド、ロシア、ルーマニア、スロバキア、チェコ、クロアチア、スロベニア、セルビア等の国に行けます。上記は最終目的国なので、途中の経由地や乗り換えを考えると、ヨーロッパのかなりの国に鉄道で行くことができます。まさに『線路は続くよどこまでも』(なんと、この歌、"I've Been Working on the Railroad"という名のアメリカの民謡に日本語の歌詞をつけたものでした！)

ちなみにこちらは2012年の5月、建設途中の Hauptbahnhof の工事現場を見に行った時の写真です。



駅ひとつで、どんだけ盛り上がんねん？という気もしますが…。☺  
鉄道の旅じゃなくても、ウィーンに行かれたら是非立ち寄ってみてくださいね。  
ウィーンの新名所、Hauptbahnhof でした。